



にじのはし幼稚園 園だより



令和7年12月号
港区立にじのはし幼稚園
園長 飯田 美弥

早いもので今年も最後の月となりました。12月には年末の日本の伝統行事である餅つきがあります。毎年、地域の方や保護者の方にご協力いただいています。いつもありがとうございます。当日は楽しい時間を皆で一緒に過ごせたらと思います。



また、にじっこ劇場にむけて、子どもたちは各学年で表現する楽しさを積み重ねているところです。これまで遊びの中で楽しんできた様々な表現を、どのように見せようかと、先生たちが、そして5歳児クラスでは子どもたちも一緒に、アイデアを出し合っているところです。にじっこ劇場はお子さんの成長を感じる機会となる行事の一つです。体調を整え、全員で当日を迎えられるよう、ご協力をよろしくお願いたします。

園では毎日、絵本や紙芝居、パネルシアターなどで読み聞かせやお話をしています。担任は、子どもたちの遊びや生活の様子、そして共通にしたい話題などを考慮してお話を選んでいきます。様々なお話に触れることは、子どもたちの世界を大きく広げることにつながります。先日、人形劇団ひとみ座の皆さんをお招きして観劇会を行いました。その際の演目の一つが『3びきのくま』でした。演目の後5歳児だけが残り、「人形劇のひみつ」のお話を伺いました。『3びきのくま』がロシアのお話と言うことで、女の子の人形も「マトリョーシカ」風につくったというお話がありました。そこで、絵本コーナーに『3びきのくま』『マトリョーシカちゃん』の絵本を出しに行くと、ちょうど5歳児の子どもたちが先生と一緒に絵本を探しにきました。人形劇で観た共通の知っているお話を、絵本を通して更に楽しんでもらえたらいいなと思いました。

また、日頃から幼稚園や親子で絵本に親しむということは、言葉に対する感覚を養ったり、状況に応じた適切な言葉の表現を使ったりすることにもつながります。自分で絵本を開くようになると、もう読み聞かせはしなくていいのかと思われるかもしれませんが、それは誤解です。お家の方の声でお話を聞くことが、何にも代えられない心の財産となります。お子さんにとって、自分のために時間を取って読んでもらえるということは、大切にされているという実感につながります。その積み重ねは、生涯にわたりお子さんを支えてくれるものになります。そして、保護者の方にとっても、後々思い出に残る時間となっていると、過去に幼稚園にお子さんを通わせていた方からうかがっています。



園でも週末に絵本の貸し出しを行っていますが、その際は是非1回は保護者の方による読み聞かせをお願いいたします。そして、冬休みにも親子で一緒にお話の世界を楽しみ、面白さ、不思議さ、驚き、感動など、様々な感情を分かち合っていると幸いです。

 **今学期も園の教育へのご理解・ご協力に感謝申し上げます。** 

幼稚園経営計画 今年度の主な取り組みからの抜粋

(2)教材や行事を工夫し、心動く体験へとつなげ、豊かな学びを保障します。

③絵本や物語に親しみ、言葉に興味・関心をもち、豊かな言葉や表現を身に付けていくことができるよう、担任による日常的な読み聞かせや「お話会」を開催し、多様な題材や語りに触れることができるようにします。



